



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社デジタルハーツ 上場取引所 東
コード番号 3620 URL http://www.digitalhearts.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)宮澤 栄一
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 財務経理本部長 (氏名)風間 啓哉 (TEL)03(3379)2053
四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,345	—	126	—	132	—	75	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 66百万円(—%) 24年3月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	13.03	12.66
24年3月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 平成24年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,928	2,275	77.1
24年3月期	3,159	2,266	71.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,256百万円 24年3月期 2,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、本日(平成24年8月3日)公表しました「中間配当の実施予定及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。これに伴い、平成25年3月期(予想)の配当予想については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,599	22.5	1,033	23.9	1,030	27.8	568	29.1	49.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当社は、年次での業績管理を実施しているため、通期のみの開示としております。

2. 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、本日(平成24年8月3日)公表しました「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。これに伴い、1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社デジタルハーツ・ビジュアル、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料5ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	5,800,500株	24年3月期	5,798,100株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	—株	24年3月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	5,799,366株	24年3月期1Q	5,789,212株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、本日(平成24年8月3日)公表しました「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。これに伴い、業績予想の1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。
- ・四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報等	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
	(6) 重要な後発事象	10
4.	(参考)四半期財務諸表(個別)	12
	(1) (参考)四半期貸借対照表(個別)	12
	(2) (参考)四半期損益計算書(個別)	
	第1四半期累計期間	13
5.	補足情報	14
	(1) 生産、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは前第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、業績等の前年同期比は記載しておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に一部で緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州金融市場の混乱をはじめとする海外経済の減速、長期化する円高の影響等により、先行きが不透明な状況で推移致しました。

当社グループの関連市場であるソフトウェア、コンテンツ市場では、これまで以上に完成度の高いソフトウェア等をより低コストでスピーディに開発することが求められるようになりました。このため、メーカーや開発会社は人件費の削減に加え、高品質な製品の開発に経営資源を集中することを目的として、デバッグ工程をアウトソーシングする傾向にあり、この動きは引き続き拡大していくものと見込んでおります。

このような経営環境において、当社グループでは「Made in JapanからChecked by Japanへ」というスローガンのもと、国内外で増加傾向にある消費者的視点からのユーザーデバッグ需要と多様化する顧客ニーズに対応したサービス展開に注力して参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、デバッグ事業におけるリレーション間の連携強化による業界横断的な販売戦略等が奏功し、すべてのリレーションにおいて業績が堅調に推移した結果、1,345,945千円となりました。

また、国内売上高の拡大の一方で、今後の事業拡大に備えた海外展開への積極的な投資を行った結果、営業利益は126,174千円、経常利益は132,255千円、四半期純利益は75,537千円となりました。

①デバッグ事業

(i) コンシューマゲームリレーション

日本国内のコンシューマゲーム市場におきましては、ミリオンタイトルの登場や新型ハードの普及により、当第1四半期連結累計期間のゲームソフトの販売市場は前年同四半期比130.5%（平成24年6月末時点、エンターブレイン調べ）と拡大致しました。

このような状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に取引拡大を実現した大口顧客企業各社からの安定受注を図るとともに、オンラインゲーム等のリピート率の高い案件の獲得にも積極的に注力して参りました。その結果、これらの活動を通じた既存顧客との関係強化によってアウトソーシング比率が上昇し、多数の顧客企業からの受注案件が増加致しました。

また、連結子会社のDIGITAL Hearts USA Inc. では、平成24年6月に米国ロサンゼルスで開催された世界最大のコンピュータゲーム関連の見本市「Electronic Entertainment Expo」への出展等を通じて海外顧客企業に向けた営業活動に注力するとともに、デバッグ人員の拡充及びセキュリティ環境の強化を目的にオフィスを移転するなど、今後の事業規模の拡大に備えて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のコンシューマゲームリレーションの売上高は563,298千円となりました。

(ii) デジタルソリューションリレーション

モバイルコンテンツビジネスを取り巻く環境は、スマートフォンの普及により、ソーシャルゲーム市

場が世界規模で拡大するとともにモバイル端末機能の多様化が進み、スマートフォン向けのアプリ数は大幅に増加致しました。

このような状況のもと、従来からコンシューマゲーム分野で取引関係のある顧客企業各社が本格的にソーシャルゲーム領域に参入していることから、当社グループでは、コンシューマゲームリレーションで培った顧客基盤を活かした受注活動に注力し、既存顧客からのアウトソーシング比率の拡大に努めて参りました。

また、事業間シナジーを活かした人的資源の最適配置によってプロジェクトマネジメント力を一層強化するとともに、この点を訴求した提案型の営業に努めた結果、新規顧客の獲得を実現致しました。

他方、前連結会計年度より本格的に取り組んでいるシステム検証においても、既存顧客から継続的な案件獲得を図り、着実に実績を積み重ねるとともに、さらなる新規顧客の開拓にも積極的に注力して参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のデジタルソリューションリレーションの売上高は361,588千円となりました。

(iii)アミューズメントリレーション

日本国内のパチンコ市場における遊技機メーカー各社では、新内規対応機の登場によりゲーム性及び演出の多様化が進むとともに、パチスロ市場においても市場の拡大に伴い、新機種の開発が活発化致しました。

このような状況のもと、当社グループでは、開発の上流工程と連動した効率的なデバッグ体制の強化と、デバッグに関連するサービスの拡充を推進することにより、顧客ニーズを捉えたサービス提供に注力して参りました。

その結果、これまで提案営業を積極的に実施してきた顧客からの取引拡大につながり、当第1四半期連結累計期間のアミューズメントリレーションの売上高は362,232千円となりました。

②その他の事業

ゲームの制作支援を行う開発アウトソーシング事業では、ゲームソフトウェア関連のトータルアウトソーシングニーズに対応すべく、当社グループでは、連結子会社である株式会社G&Dを通じて、グローバルネットワークを活かしたサービスの提供に努めて参りました。

3Dコンテンツ制作事業では、より一層の盛り上がりが見込まれる海外の映像関連業界を中心とした顧客企業に対する営業活動に注力して参りました。

また、顧客企業からの要望にスピーディに対応するため、迅速な意思決定とタイムリーな経営判断を行う体制の構築及び業務効率化を目的として、平成24年5月に同事業を当社から分離し、新たに連結子会社として株式会社デジタルハーツ・ビジュアルを設立致しました。

Fuguai.com事業におきましては、デバッグ事業との販売シナジーを活かしたサービス開発に努めるとともに、認知度の向上に注力し、収益化に向けた活動に努めて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は58,825千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産の残高は2,275,653千円となり、前連結会計年度末における流動資産2,451,501千円に対し、

175,847千円の減少(前期比7.2%減)となりました。

これは、主として売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が115,289千円増加した一方で、法人税等の納付等により現金及び預金が287,622千円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は652,357千円となり、前連結会計年度末における固定資産708,394千円に対し、56,037千円の減少(前期比7.9%減)となりました。

これは、主として案件の増加に伴うデバッグ機材の購入等により有形固定資産が10,439千円増加した一方で、保険の解約に伴う保険積立金の減少等により投資その他の資産が62,619千円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は624,563千円となり、前連結会計年度末における流動負債862,450千円に対し、237,886千円の減少(前期比27.6%減)となりました。

これは、主として未払法人税等が210,720千円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は28,235千円となり、前連結会計年度末における固定負債30,953千円に対し、2,718千円の減少(前期比8.8%減)となりました。

(純資産)

純資産の残高は2,275,212千円となり、前連結会計年度末における純資産2,266,492千円に対し、8,719千円の増加(前期比0.4%増)となりました。

これは、主として1株当たり1,000円の期末配当を実施したことにより利益剰余金が57,981千円減少した一方で、四半期純利益の計上により利益剰余金が75,537千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、全体として概ね計画どおりとなっております。なお、第2四半期連結会計期間以降につきましても当初の計画どおり推移するものと見込まれることから、平成24年5月10日に公表致しました通期の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社の異動)

平成24年5月21日付けで株式会社デジタルハーツ・ビジュアルを設立したため、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,597,677	1,310,054
受取手形及び売掛金	763,994	879,283
たな卸資産	994	1,994
その他	89,687	85,313
貸倒引当金	△852	△993
流動資産合計	2,451,501	2,275,653
固定資産		
有形固定資産	207,978	218,418
無形固定資産	62,540	58,683
投資その他の資産	437,875	375,255
固定資産合計	708,394	652,357
資産合計	3,159,896	2,928,011
負債の部		
流動負債		
未払費用	346,920	340,760
未払法人税等	275,780	65,060
賞与引当金	26,380	12,722
その他	213,367	206,020
流動負債合計	862,450	624,563
固定負債		
資産除去債務	3,060	3,839
その他	27,893	24,396
固定負債合計	30,953	28,235
負債合計	893,403	652,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	272,949	272,981
資本剰余金	232,949	232,981
利益剰余金	1,741,048	1,758,605
株主資本合計	2,246,947	2,264,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,444	△1,256
為替換算調整勘定	△3,107	△6,774
その他の包括利益累計額合計	△4,552	△8,031
少数株主持分	24,097	18,675
純資産合計	2,266,492	2,275,212
負債純資産合計	3,159,896	2,928,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,345,945
売上原価	914,496
売上総利益	431,449
販売費及び一般管理費	305,274
営業利益	126,174
営業外収益	
受取利息	13
受取配当金	287
助成金収入	4,149
その他	2,339
営業外収益合計	6,790
営業外費用	
支払利息	425
為替差損	187
その他	96
営業外費用合計	710
経常利益	132,255
特別利益	
保険解約返戻金	22,183
特別利益合計	22,183
税金等調整前四半期純利益	154,438
法人税、住民税及び事業税	61,728
法人税等調整額	22,408
法人税等合計	84,137
少数株主損益調整前四半期純利益	70,301
少数株主損失(△)	△5,235
四半期純利益	75,537

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,301
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	188
為替換算調整勘定	△3,852
その他の包括利益合計	△3,664
四半期包括利益	66,636
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	72,058
少数株主に係る四半期包括利益	△5,421

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当社グループは、デバッグ事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(株式分割及び単元株制度の採用)

当社は、平成24年5月25日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年7月1日付で、株式の分割を行うとともに、単元株制度の導入を行っております。

① 株式分割及び単元株制度導入の目的

平成19年11月に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」を踏まえ、当社株式を上場している証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、1株を100株に分割するとともに単元株制度の採用を行っております。

なお、この株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

② 株式分割の方法

平成24年6月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって分割致しました。

③ 株式分割により増加する株式数

(i) 株式分割前の発行済株式総数	58,005株
(ii) 今回の分割により増加する株式数	5,742,495株
(iii) 株式分割後の発行済株式総数	5,800,500株
(iv) 株式分割後の発行可能株式総数	19,200,000株

④ 単元株制度の導入

普通株式の単元株式数を100株と致しました。

⑤ 株式分割及び単元株制度の効力発生日

平成24年7月1日

上記の株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の当第1四半期連結累計期間における1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13.03円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額	12.66円

(株式分割)

当社は、平成24年8月3日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年10月1日を効力発生日として、株式分割を行うことを決議致しました。

① 株式分割の目的

投資家の皆様により投資していただきやすい環境を整えるため、当社株式1投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的として、株式分割を実施致します。

② 株式分割の方法

平成24年9月30日(ただし、同日は株主名簿管理人の休業日のため、実質上は平成24年9月28日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割致します。

③ 株式分割により増加する株式数

(i) 株式分割前の発行済株式総数	5,800,500株
(ii) 今回の分割により増加する株式数	5,800,500株
(iii) 株式分割後の発行済株式総数	11,601,000株
(iv) 株式分割後の発行可能株式総数	38,400,000株

④ 株式分割の日程

(i) 基準日公告日	平成24年9月13日
(ii) 基準日	平成24年9月30日
(iii) 効力発生日	平成24年10月1日

上記の株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の当第1四半期連結累計期間における1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6.51円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額	6.33円

4. (参考)四半期財務諸表(個別)

この四半期財務諸表(個別)は「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考)四半期貸借対照表(個別)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,054	1,184,425
受取手形及び売掛金	763,776	819,340
たな卸資産	994	1,994
その他	91,964	83,753
貸倒引当金	△ 852	△ 993
流動資産合計	2,329,938	2,088,520
固定資産		
有形固定資産	183,667	189,598
無形固定資産	48,042	45,917
投資その他の資産	601,301	627,812
固定資産合計	833,010	863,328
資産合計	3,162,948	2,951,849
負債の部		
流動負債		
未払費用	342,799	335,293
未払法人税等	275,780	65,060
賞与引当金	26,380	12,722
その他	210,179	172,575
流動負債合計	855,140	585,651
固定負債		
資産除去債務	3,060	3,839
その他	6,072	5,297
固定負債合計	9,132	9,137
負債合計	864,273	594,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	272,949	272,981
資本剰余金	232,949	232,981
利益剰余金	1,794,221	1,852,354
株主資本合計	2,300,120	2,358,317
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 1,444	△ 1,256
評価・換算差額等合計	△ 1,444	△ 1,256
純資産合計	2,298,675	2,357,060
負債純資産合計	3,162,948	2,951,849

(2) (参考)四半期損益計算書(個別)

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	913,669	1,288,648
売上原価	604,658	855,224
売上総利益	309,010	433,423
販売費及び一般管理費	245,656	270,834
営業利益	63,353	162,589
営業外収益		
受取利息	495	290
為替差益	—	315
助成金収入	1,300	4,149
その他	489	3,174
営業外収益合計	2,285	7,929
営業外費用		
支払利息	42	47
為替差損	1,199	—
債権売却損	51	—
その他	52	39
営業外費用合計	1,345	86
経常利益	64,293	170,432
特別利益		
事業譲渡益	—	7,556
保険解約返戻金	—	22,183
特別利益合計	—	29,739
税引前四半期純利益	64,293	200,171
法人税、住民税及び事業税	12,726	61,649
法人税等調整額	16,114	22,408
法人税等合計	28,841	84,057
四半期純利益	35,452	116,113

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループの報告セグメントはデバッグ事業のみであり、デバッグ事業においては事業分野別に記載しております。

① 生産実績

事業の特性上、該当事項はありません。

② 受注実績

当社グループのデバッグ事業は、業務の請負若しくは人材の派遣により業務が実施され、サービスの提供時間に対して課金するシステムを採用しているとともに、受注から販売までの所要日数が短く常に受注残高は僅少であり、期中の受注高と販売実績とがほぼ対応するため、記載を省略しております。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

区分		当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
		金額(千円)	前年同四半期比(%)
デバッグ 事業	コンシューマゲームリレーション	563,298	—
	デジタルソリューションリレーション	361,588	—
	アミューズメントリレーション	362,232	—
	小 計	1,287,119	—
その他の事業		58,825	—
合 計		1,345,945	—

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社は前第2四半期連結累計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比は記載しておりません。